

グローバルAIファンド (予想分配金提示型)

追加型投信 / 内外 / 株式

日経新聞掲載名：グローバAI分

第11作成期 2024年9月26日から2025年3月25日まで

第60期 決算日
2024年10月25日

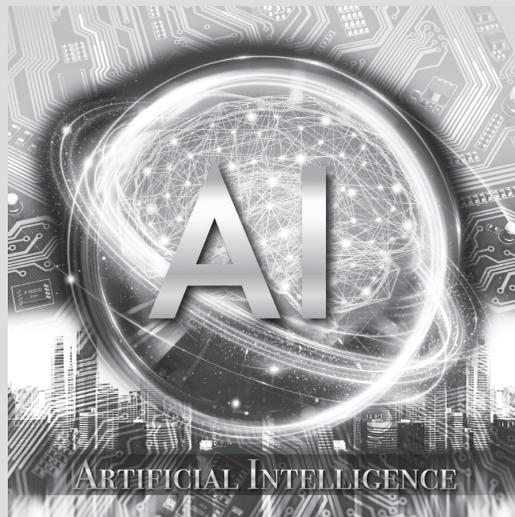
第61期 決算日
2024年11月25日

第62期 決算日
2024年12月25日

第63期 決算日
2025年1月27日

第64期 決算日
2025年2月25日

第65期 決算日
2025年3月25日



受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドはマザーファンドへの投資を通じて、実質的に世界の株式に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。

当作成期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。



〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1
<https://www.smd-am.co.jp>

当作成期の状況

基準価額 (作成期末)	9,745円
純資産総額 (作成期末)	168,337百万円
騰落率 (当作成期)	+3.4%
分配金合計 (当作成期)	1,100円

※騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

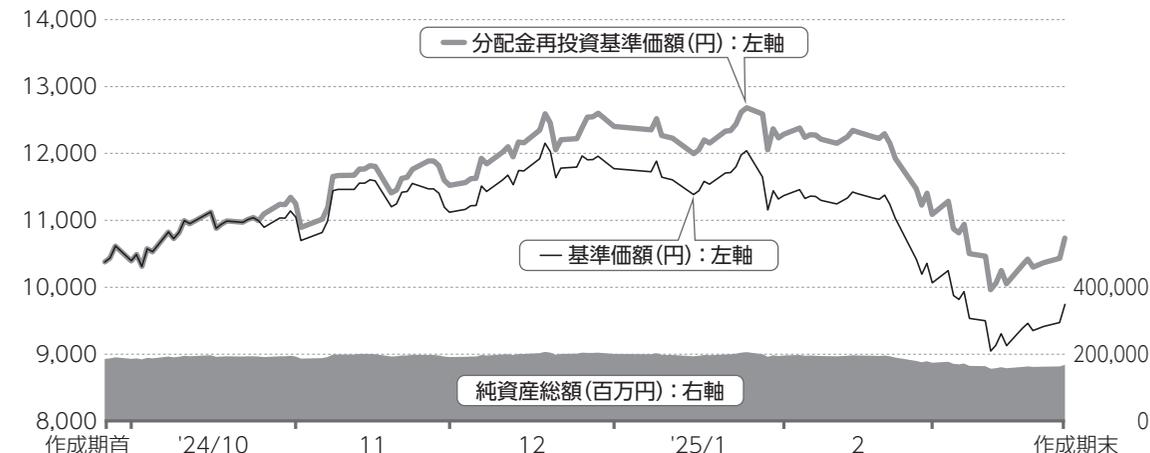
当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、次の手順でご覧いただけます。なお、印刷した「運用報告書(全体版)」はご請求により交付させていただきますので、販売会社までお問い合わせください。

【閲覧方法】<https://www.smd-am.co.jp/fund/unpo/>にアクセス→ファンド名を入力→検索結果からファンドを選択

1 運用経過

基準価額等の推移について (2024年9月26日から2025年3月25日まで)

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、作成期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

作成期首	10,377円
作成期末	9,745円 (当作成期既払分配金1,100円(税引前))
騰落率	+3.4% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

基準価額の主な変動要因(2024年9月26日から2025年3月25日まで)

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、世界的上場株式の中からAI（人工知能）の進化、応用により高い成長が期待される企業の株式に投資を行いました。

なお、実質組入外貨建資産については対円での為替ヘッジを行いませんでした。

上昇要因

- F R B (米連邦準備制度理事会) が9月、11月、12月のF O M C (米連邦公開市場委員会) で利下げを行ったこと
- 米国のトランプ政権が各種規制緩和策を示唆し、投資家に好感されたこと

下落要因

- 中国製のAIであるDeepSeekが注目され、AIへの投資水準に及ぼす影響の不確実性が高まったこと
- 高止まりするインフレにより、今後のF R Bの利下げペースが鈍化するとの懸念が拡大したこと

1万口当たりの費用明細 (2024年9月26日から2025年3月25日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	106円	0.956%	信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数/年日数) 期中の平均基準価額は11,050円です。
(投 信 会 社)	(54)	(0.492)	投信会社：ファンド運用の指図等の対価
(販 売 会 社)	(48)	(0.437)	販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.027)	受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	3	0.029	売買委託手数料=期中の売買委託手数料/期中の平均受益権口数
(株 式)	(3)	(0.029)	売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(先物・オプション)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
(c) 有価証券取引税	0	0.004	有価証券取引税=期中の有価証券取引税/期中の平均受益権口数
(株 式)	(0)	(0.004)	有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(公 社 債)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
(d) その他費用	1	0.007	その他費用=期中のその他費用/期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.006)	保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.001)	監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	そ の 他：信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	110	0.996	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

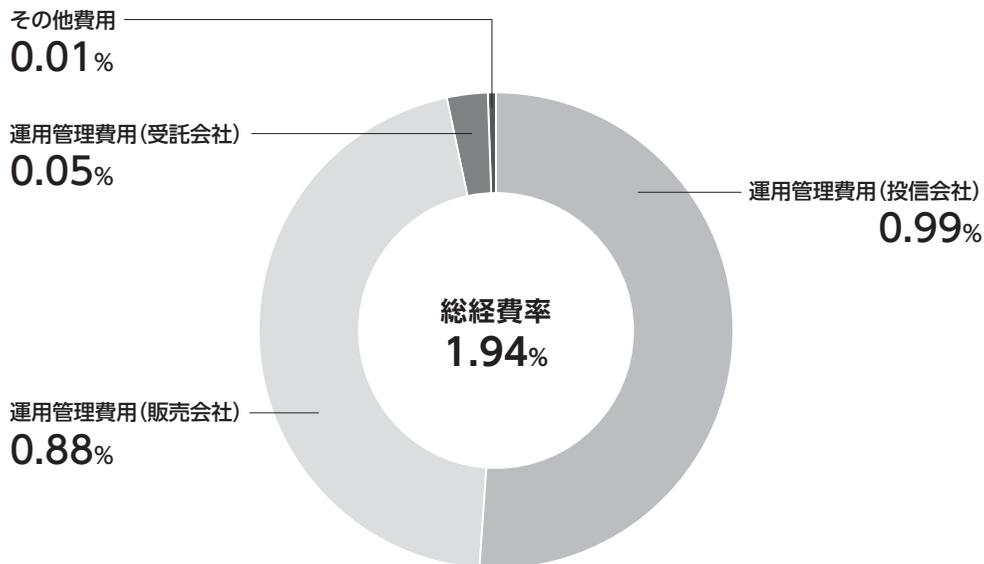
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。



参考情報 総経費率(年率換算)



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

※各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。

※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率換算)は1.94%です。

最近5年間の基準価額等の推移について(2020年3月25日から2025年3月25日まで)

最近5年間の推移



※分配金再投資基準価額は、2020年3月25日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

		2020.3.25 決算日	2021.3.25 決算日	2022.3.25 決算日	2023.3.27 決算日	2024.3.25 決算日	2025.3.25 決算日
基準価額	(円)	9,109	14,769	11,299	8,615	11,825	9,745
期間分配金合計(税引前)	(円)	—	4,650	4,550	100	1,600	2,250
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	—	124.6	6.0	-23.0	58.1	0.4
純資産総額	(百万円)	1,616	97,944	288,162	185,791	219,925	168,337

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

投資環境について (2024年9月26日から2025年3月25日まで)

世界の株式市場はほぼ横ばいとなりました。為替市場では、円は米ドルに対して円安となりました。

株式市場

期初は、F R B が通常 (0.25%) より大きい 0.50% の利下げを 9 月の F O M C で決定したことや、ドナルド・トランプ氏が米大統領選挙で勝利したほか議会選挙でも共和党が圧勝したため減税や規制緩和への期待感が高まったことから、世界株式は上昇しました。

その後、「スターゲート計画」と呼ばれる巨額の A I 投資計画が好感されたものの、中国製の A I である DeepSeek が注目され、A I への投資水準に及ぼす影響の不確実性が高まったため、世界株式は値動きの荒い展開となりました。

期末は、トランプ政権の関税や財政政策等に対する不透明感により、世界株式は下落しました。

為替市場

期末の米ドル・円は、期初と比較して米ドル高・円安となりました。

期初は、パウエル F R B 議長によるタカ派 (インフレ抑制を重視する立場) 発言や、石破首相が日銀の追加利上げに否定的な発言をしたことを受けて、米ドル買い・円売りが優勢となりました。

12 月、パウエル F R B 議長が今後の利下げを慎重に進める姿勢を示したことや、日銀の利上げ観測が後退したこと等から引き続き対米ドルで円安が進みました。

期末は、日銀が 2025 年 1 月の金融政策決定会合で利上げを決定したことや、米国の経済指標が一部軟調な結果となり、米国の長期金利が低下したため、日米金利差縮小から対米ドルで円高が進行しました。

ポートフォリオについて (2024年9月26日から2025年3月25日まで)

当ファンド

「グローバルA I エクイティ・マザーファンド」の組み入れを高位に保ちました。

また、実質組入外貨建資産については対円での為替ヘッジを行いませんでした。

グローバルA I エクイティ・マザーファンド

10月に、世界各地で事業を展開する医薬品メーカーであるイーライリリーの組み入れを開始しました。同社は、医薬品の開発から製造工程まで幅広くA Iを活用することで効率化を進めています。幅広い分野において有望医薬品を有していることから今後のさらな

る成長が期待できると考え、新規購入しました。

12月には、クラウドベースの企業向けソフトウェアを提供するマンデードットコムを全売却しました。同社は、競争力の高い製品を有しているものの、競合他社との競争が激化しているため、株価が中長期的な目標株価に接近したタイミングで全売却を行いました。

2025年1月より、決済サービス大手のペイパル・ホールディングスを全売却しました。同社は、サービスの強化やセキュリティの向上のため、A Iを幅広く活用している点を評価しているものの、株価が短期的な目標株価に到達したことから全売却を行いました。

ベンチマークとの差異について (2024年9月26日から2025年3月25日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

分配金について (2024年9月26日から2025年3月25日まで)

期間の1万口当たりの分配金(税引前)は、基準価額水準等を勘案し、以下の通りといたしました。
 なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第60期	第61期	第62期	第63期	第64期	第65期
当期分配金	200	200	200	300	200	0
(対基準価額比率)	(1.80%)	(1.71%)	(1.65%)	(2.51%)	(1.88%)	(0.00%)
当期の収益	3	200	200	45	-	-
当期の収益以外	196	-	-	254	200	-
翌期繰越分配対象額	1,041	1,471	1,906	1,650	520	755

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。
 ※「対基準価額比率」は、「当期分配金(税引前)」の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

当ファンド

「グローバルA I エクイティ・マザーファンド」の組み入れを高位に保ちます。

また、実質組入外貨建資産については対円での為替ヘッジを行いません。

グローバルA I エクイティ・マザーファンド

当戦略では、A I がもたらすイノベーションと変革を推進する企業への投資にフォーカスしています。世界中でより強力なA I データセンターが構築され、今後数年間はA I インフラへの支出は堅調に推移するとみています。そのため、A I インフラストラクチャー

分野の企業は長期的な需要の増加から恩恵を享受すると考えています。

また、生成A I アプリケーションは、A I エージェントの登場によって次の段階に進化しており、A I 開発分野に新しい波が到来しています。さらに、A I 活用分野の企業はより高い競争力とイノベーションを実現するため、独自の情報を用いて固有の産業特化型A I をトレーニングする等、生成A I 投資を増やしています。私たちはA I の活用はまだ一部でしか見られず、ソフトウェアの進化によってさらに活用が広まると考えています。

A I によって技術革新のペースが加速的に進歩し続けており、私たちはA I の進歩と開発によってもたらされる大規模な破壊的変

化のごく初期段階にいると考えています。この技術革新サイクルにおいて、長期的な株主

価値を高めることができる企業を見極めていくことに注力していきます。

3 お知らせ

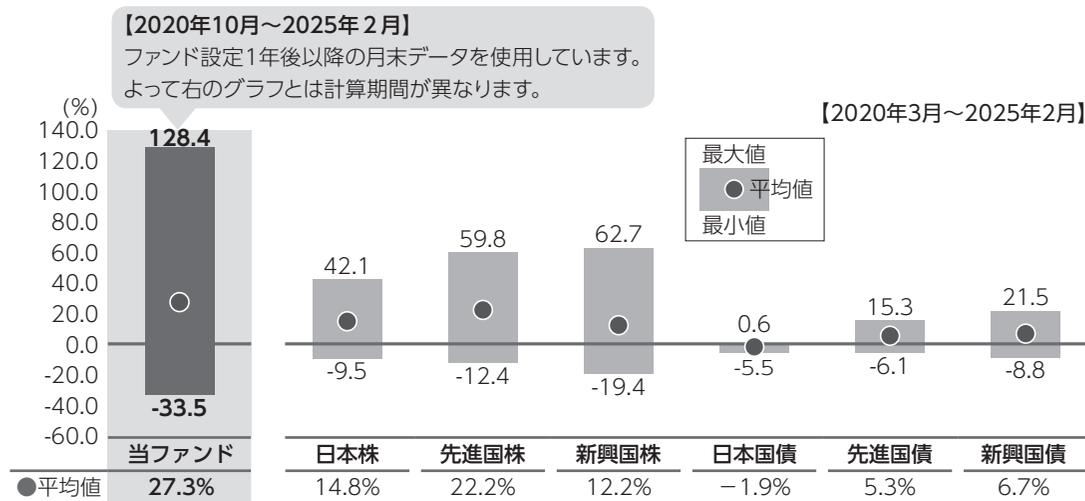
約款変更について

該当事項はございません。

4 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	2019年10月7日から2026年9月25日まで
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、実質的に世界の株式に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。
主要投資対象	当ファンドは以下のマザーファンドを主要投資対象とします。 グローバルA I エクイティ・マザーファンド 世界の上市株式
当ファンドの運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 世界の上市株式の中から、A I (人工知能)の進化、応用により高い成長が期待される企業の株式に投資を行います。 ■ マザーファンドの運用にあたっては、ヴォヤ・インベストメント・マネジメント・カンパニー・エルエルシーに運用の指図に関する権限の一部を委託します。 ■ 実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
組入制限	<p>当ファンド</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ■ 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 <p>グローバルA I エクイティ・マザーファンド</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 株式への投資割合には、制限を設けません。 ■ 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	<ul style="list-style-type: none"> ■ 毎月25日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、分配を行います。 ■ 分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みます。)等の範囲内とします。 ■ 原則として、各計算期末の前営業日の基準価額(支払済み分配金(1万口当たり、税引前)累計額は加算しません。)に応じた金額の分配を目指します。ただし、分配対象額が少額な場合、各計算期末の前営業日から当該計算期末までに基準価額が急激に変動した場合等には、分配を行わないことがあります。 <p>※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。</p>

5 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※上記期間の月末ごとに、それぞれ直近1年間の騰落率を算出し、最大・平均・最小を表示しています。よって、決算日に対応した数値とは異なります。

※当ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

各資産クラスの指数

日本株	TOPIX(東証株価指数、配当込み) 株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社が算出、公表する指数で、日本の株式を対象としています。
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス(グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、日本を除く世界の主要先進国の株式を対象としています。
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス(グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、新興国の株式を対象としています。
日本国債	NOMURA-BPI(国債) 野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する指数で、国内で発行された公募固定利付国債を対象としています。
先進国債	FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース) FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数で、日本を除く世界の主要国の国債を対象としています。
新興国債	JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース) J.P. Morganが算出、公表する指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象としています。

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースとしています。

※上記各指数に関する知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。また、上記各指数の発行者および許諾者は、当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

6 当ファンドのデータ

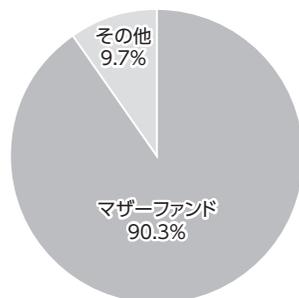
当ファンドの組入資産の内容 (2025年3月25日)

組入れファンド等

銘柄名	組入比率
グローバルAIエクイティ・マザーファンド	90.3%
コールローン等、その他	9.7%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

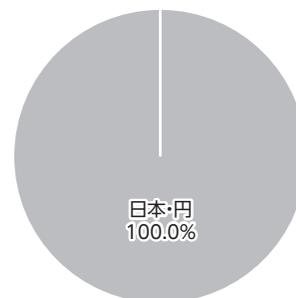
資産別配分 (純資産総額比)



国別配分 (ポートフォリオ比)



通貨別配分 (純資産総額比)



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

純資産等

項目	第60期末 2024年10月25日	第61期末 2024年11月25日	第62期末 2024年12月25日	第63期末 2025年1月27日	第64期末 2025年2月25日	第65期末 2025年3月25日
純資産総額 (円)	191,068,235,384	197,256,179,267	203,502,048,137	199,935,238,207	179,676,608,536	168,337,693,894
受益権総口数 (口)	175,352,918,551	171,953,272,927	170,920,078,962	171,617,415,014	172,494,368,073	172,745,679,046
1万口当たり基準価額 (円)	10,896	11,471	11,906	11,650	10,416	9,745

※当作成期における、追加設定元本額は14,856,015,292円、解約元本額は21,400,507,128円です。

組入上位ファンドの概要

グローバルA I エクイティ・マザーファンド(2023年9月26日から2024年9月25日まで)

基準価額の推移



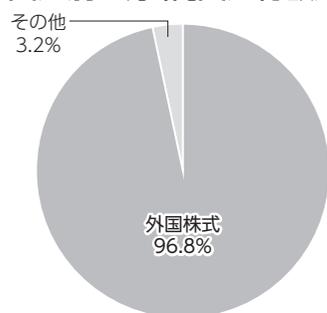
1万口当たりの費用明細

(単位：円)

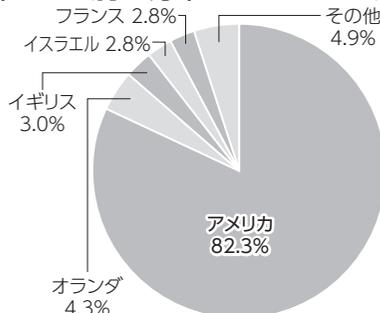
項目	(内訳)	金額	(内訳)
売買委託手数料	(株式) (投資信託証券)	35	(35) (0)
有価証券取引税	(株式) (投資信託証券)	5	(5) (0)
その他費用	(保管費用) (その他)	6	(5) (1)
合計		46	

※項目の概要については、前記「費用明細」をご参照ください。

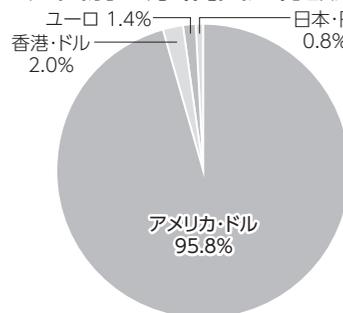
資産別配分(純資産総額比)



国別配分(ポートフォリオ比)



通貨別配分(純資産総額比)



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

※基準日は2024年9月25日現在です。

組入上位銘柄

(基準日：2024年9月25日)

銘柄名	業種	組入比率
1 NVIDIA CORP	半導体・半導体製造装置	7.1%
2 TESLA INC	自動車・自動車部品	5.4%
3 BROADCOM INC	半導体・半導体製造装置	5.2%
4 FIRST SOLAR INC	半導体・半導体製造装置	3.8%
5 META PLATFORMS INC-CLASS A	メディア・娯楽	3.5%
6 AMAZON.COM INC	一般消費財・サービス流通・小売り	3.1%
7 MORGAN STANLEY	金融サービス	3.0%
8 ASTRAZENCA PLC-SPONS ADR	医薬品/バイオ/テクノロジー/ヘルスケア	2.9%
9 MONDAY.COM LTD	ソフトウェア・サービス	2.7%
10 DATADOG INC - CLASS A	ソフトウェア・サービス	2.7%
全銘柄数	61銘柄	

※比率は、純資産総額に対する割合です。

※全組入銘柄につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。